

コラム③ 北区歴史と文化の八十八選

札幌で最も早い時期に開拓の^{くわ}鋤が入った北区には、歴史的にも大切な建物や文化遺産が数多く残されています。北区役所では、その中から88カ所の名所を選び、案内板やガイドマップを作成して、これらの文化遺産を多くの人に知ってもらうために「北区歴史と文化の八十八選」事業を行っています。

八十八選の案内板には、それぞれの由来や歴史的経過などがわかりやすく説明してあります。注意してよく見ると、1つずつキーワードが書かれてあり、それらを順番につなぎ合わせると、5つのコースごとに1つの文章になります。

※一部、形の違う案内板がありますので注意してください。

キーワードをすべて正しく見つけて、5つの文章を完成させた方には、すてきな賞品を用意しています。北区役所地域振興課か、各まちづくりセンターまでお越しください。

「北区歴史と文化の八十八選」の詳細は、北区役所などで配布している「北区歴史と文化の八十八選コースガイド」に掲載しています。地域についての学習や健康づくりに、是非お役立てください。

◆八十八選の一部をご紹介します◆



I 文学と学問の道

(11) ウィリアム・S・クラーク像
札幌初代農学校教頭として来日し、学生に大きな影響を与えた。「ボーイズ・ビー・アンビシャス」の言葉が有名である。



II 水辺と開墾の道

(30) 近藤牧場
牧場内に木でできた珍しいサイロを持ち、札幌の周辺部にかつてあった牧場の風景を今も残している。



II 水辺と開墾の道

(44) 帝国製麻琴似製線工場跡
同工場は明治23年に操業を開始、昭和32年まで繊維の生産を行っていた。工場長宅のアカマツが、今も道路の中央に残っている。



III 森と歴史の道

(61) 創成川通りのポプラ並木
田畑を牛や馬に荒らされないために、大正4年に植えられた。北大ポプラ並木に劣らぬ見事な並木に成長した。



IV 農村文化発祥の道

(78) 龍雲寺のイチョウ
篠路開拓者の心のよりどころだったこの寺に、新しい土地の開拓の記念として植えられたと伝えられている。



V 藍の道

(86) トンネウス沼
沼にはカラカネイトトンボなどの珍しいトンボが生息している。このため「あいの里」地区の造成時にこの沼を残した。

※それぞれについている数字は八十八選の通し番号です。

【お問い合わせ】 北区市民部地域振興課まちづくり調整担当係 757-2407